

表紙

私たち相談支援専門員は、
『チーム北九州』として共に学び共に協力する仲間です

① 権利擁護

自分らしく生きることを尊重し、その実現を後押しします

年齢や性別、障害を問わずひとりの人格として認め、個々の思いや価値観、生きる権利、家族との関係性などを理解することが必要です。

利用者が豊かな人生を築いていけるように、発信される言葉や内に秘めた思いに耳を傾け、自己決定にむけた支援をしましょう。

② 自立支援

エンパワメントを重視し、価値観や多様性を尊重します

利用者一人ひとりが人生の主人公です。

忘れかけていた夢、諦めかけていた希望、実現が難しいと感じることがあっても、成功したり失敗したりしながら「どうしたら叶うか」を一緒に探していきましょう。

それには私たちが、利用者の価値観や多様性を最大限に尊重する姿勢を持ち、エンパワメントの視点に立つことが必要です。

③ 法令順守

公正、中立性を保ち、目的とその過程を説明します

法令や条令、社会通念上のルールを守ることで、社会的な信用を得ることができます。

そのためには、変化する制度を学び、利用者に正しく説明できるようにしましょう。

様々な個別のニーズに添った利用者中心の福祉サービスの活用ができるように、意見を出し合い、型にはまった考え方にとらわれずに、発展させていきましょう。

④ 調和

やさしい気持ちで、お互い支え合う共生社会を目指します

みんなの「心」と「からだ」が満たされ、自分らしくあることで、仲間と共感し、助け合うことができます。ひとりで抱え込まずに、手を取りあえる環境づくりをしていきましょう。

⑤ 地域づくり

利用者の声に耳を傾け、地域で共に生きる社会を目指します

「あったらいいな」の思いは、なかなか表に出にくいものです。「もっと便利になってほしい」という思いや、「ここが足りない」という思いを代わりに声に出すこと。一人ひとりの願いは地域に共有されてこそ、私たちは共に生きるという実感が得られるものです。地域の輪を作る仲間の一員として、暮らしの中で必要な「人・物・事」を作りだし、「幸福度の高い北九州」を目指します。

⑥ 教導と成長

質の向上と専門性を学ぶことで、相談支援の力を高めます

専門的な知識や技術を高めるだけでなく、それらをアップデートする柔軟性や、実践できる行動力が求められます。ひとりの学びだけでなく、みんなで学ぶ姿勢も持ちましょう。

⑦ 人生の伴走者

それぞれのペースに合わせた生き方ができるように伴走します

伴走者には、一緒に走るだけでなく、道の状況を伝え危険を避ける役割があります。しかし、人生の伴走者の場合はその先に困難があっても、本人の意思であれば、時には見守ることも必要です。またライフステージに応じて変化していく中、私たち相談支援専門員は、その方の人生をひとりで背負うのではなく、場面や状況によっては協働で取り組み、あるいは私たち（利用者と支援者）のウェルビーイングを考え、交代することも必要です。

裏表紙

【多職種と連携しながら、平等かつ客観的な視点を持ち、アセスメントに基づくサービス等利用計画書を作成し、評価します】